

根拠に基づく下肢装具の選択

～ゲイトジャッジシステムを用いた評価から～

概要

近年、多種多様な下肢装具が研究・開発されている。臨床場面においては、地域性・リハビリ内容・医師や療法士の経験等の様々な要因をもとに下肢装具が選択されていることがないだろうか。

装具は急性期から在宅までに関わるセラピストにとってのマストアイテムであり、治療・リハビリそして退院後の実生活で役立つ機能をすべて備えていることが、正しい下肢装具の条件であると考えている。今回のセミナーでは、“ゲイトジャッジシステム”を用いて底屈制動モーメントや足関節角度等のデータを可視化することにより装具選択に必要な項目をまとめる、併せて装具歩行の実技から下肢装具に真に必要な機能をみんなで考えたい。

【講師】 宮谷 定行先生（川村義肢株式会社 義肢装具士）

【日時】 2015年7月12日（日）10：00～16：00（9：30受付）

【受講料】 3500円（税込・申し込み順） 当日現金にて徴収

【申し込み方法】 HPにて受付

【HP】 <http://jissen-riha.com>

【定員】 50名程度

【問い合わせ】 jissen-riha2@ab.auone-net.jp

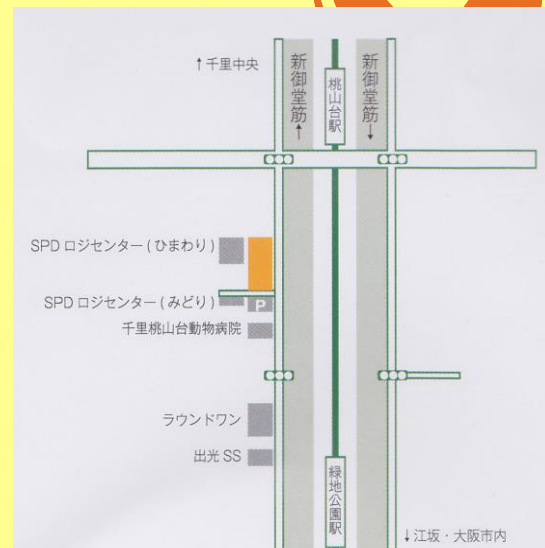
【会場】 グリーンホスピタルサプライ（株）4階大会場

（〒565-0853 大阪府吹田市春日3-20-8）

【交通のご案内】 北大阪急行電鉄「桃山台駅」下車

南改札口より南へ徒歩7分

※近隣に駐車場が少ないので公共交通機関をご利用下さい



● セミナー内容

【座学】

□歩行の基礎と力学

(三次元動作解析装置・床反力計・筋電計から測定したデータを基に説明します)

- ・ 正常歩行の床反力と関節モーメントとの関係
- ・ 歩行時の床反力と関節運動・身体重心との関係
- ・ 装具歩行中の下肢関節運動と矯正モーメント

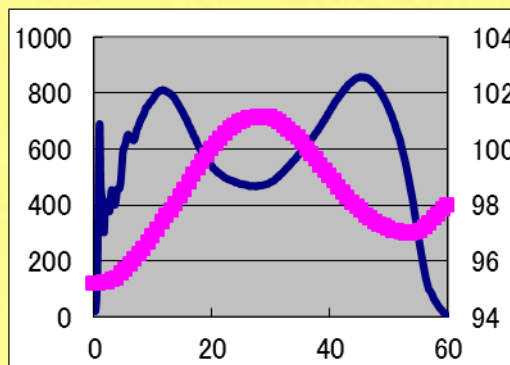
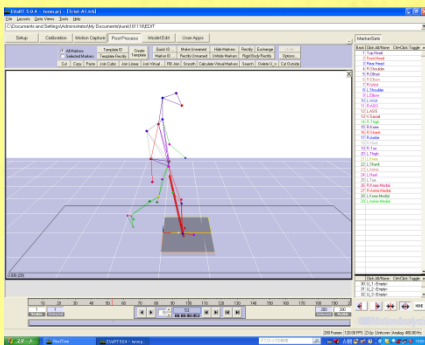
□下肢装具の目的と効果

- ・ 下肢装具の構成要素
- ・ 下肢装具処方のポイント

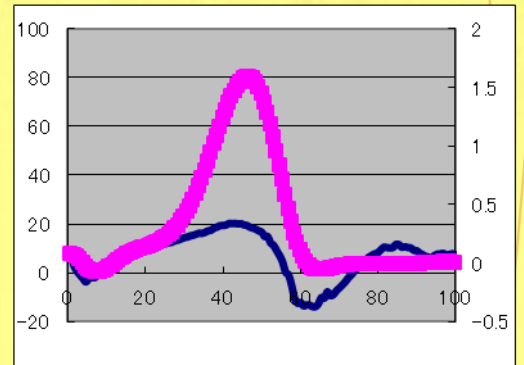
(矯正モーメントの決定要素。継手の違いが身体へ及ぼす影響)

□こんなとき、どうしてですか？(装具処方の実際)

- ・ 装具事例紹介



歩行周期におけるCOGの高さと床反力の関係



足関節角度変化とモーメントとの関係

【実技】

□歩行中の矯正モーメントが身体に及ぼす影響

- ・ 装具による歩行
- ・ 継手設定による比較

□ゲイトジャッジシステムを用いた歩行の評価の可視化

- ・ 底屈制動モーメントと関節角度、歩行動画と筋電図の計測
- ・ 歩行評価のポイント

